

合格体験記

先輩の言葉

①富山大学 経済学部

私は、1,2年生の頃はまだ志望校が定まらず、ただ定期テストでいい点を取れるように頑張っていました。定期テストでは苦手な英語や数学を重点的に勉強し、気分が乗らなくなったら好きな日本史や現代社会の勉強をするようにしていました。3年生となり、進路を考えなければならなくなった時、担任の先生や進路の先生のお話の中で、国公立大学は私立大学よりも生徒の面倒を見てくれる、ということ聞き、私自身、自分で考えて何かをするよりは、誰かに教えられながらやる方が良かったので、これは自分に合っていると思い、国公立大学を目指すようになりました。

私は1,2年生の頑張りが評価され、推薦入試を受けられることとなりました。しかし、推薦入試のために1ヶ月間、小論文や面接の練習をすれば、その間は数学などの勉強が出来なくなることが不安で、挑戦するかを決めるのに多くの時間がかかりました。最終的には、小論文が英文読解を含むもので、一般入試の2次試験にも同じような問題形式で出題されることから、失敗しても2次試験対策にもなると考え、受験することにしました。結果は不合格でしたが、この1ヶ月の推薦入試対策で英語と国語がかなり伸び、次の模試ではかなりいい点をとることができたので、無駄ではなかったと思います。

共通テストに向けては、特別なことは特にしていませんが、私は積み重ねが大事だと思います。私の目指していた国公立大学受験では5教科全て必要でした。そこで、意識していたことは授業を大事にするということです。どうせ時間を使うなら、そこで理解しようと頑張りました。そして、好きだった日本史は定期テストで常に満点取れるように勉強していました。そのおかげで3年生の時に縄文時代からやり直さなくても良くなり、授業の進捗にも左右されることがなくなりました。英単語は、ほぼ毎日、寝る前に勉強をしました。私は文法書を暗記するのが好きではなかったので、英文を読む中で使い方や文法の形を覚えていきました。しかし、自分1人で英文を読んで解説を見るのはすぐに疲れてしまうので、学校の補習を活用しました。補習は先生が大切な文法や単語を教えてくれたり、1人ではなく友達と一緒に勉強し、正解の数などで競ったりすることで楽しく覚えることができたと思います。そしてもうひとつ大事だと思うのは、過去問をしっかりとやることです。どれだけ英単語を覚えようが、日本史の単語を覚えようが、覚えた通り出るものは少しです。問題の形式に慣れていなかったら何の意味もありません。

これらの努力の結果、私は、共通テストで今までで1番いい点数が取れました。しかし、それで気が抜けてしまい、モチベーションがかなり下がってしまいました。そのため、自由登校になったあとも学校へ行き英作文の添削などをしてもらい、モチベーションを保ちました。共通テストでいい点だったことで、2次試験に必要な点数に余裕ができたこともあり、合格

出来ました。

受験勉強を続けていく中で、やめたい、疲れた、と思うことは沢山あるでしょうが、諦めたらこれまでの努力は水の泡となります。受験勉強を少しでも楽にできるように、得意教科だけでも継続して勉強することが大切だと思います。「継続は力なり」です。自分の行きたい大学へ行けるよう、自分を信じて頑張ってください！

②長野大学 企業情報学部 中京大学 心理学部 他

私は高校三年生になっても志望校がなかなか決まらず、あまり受験勉強へのやる気が出ませんでした。しかし、周りの頑張っている友達を見て、私もやらなければいけないという気持ちになりました。結局、志望校を決めるのはだいぶ遅くなってしまいましたが、それまでは模試で高得点を取ることを目標にして勉強に励んでいました。

私は英語が苦手だったので、受験勉強には英語に一番時間を割いていたと思います。英単語や英熟語は毎日新しいものを覚えて、もう覚えたところも定期的に復習しました。長文と文法はまずは参考書を一冊完璧にすることで力が身につきました。リスニングは特に苦手だったので、ご飯を食べる時にリスニング対策用の動画を見たり、時間がある時はシャドーイングをしたりしました。最初は効果があるのか半信半疑でしたが、模試の点数は順調に上がりました。受験前はとにかく過去問と予想問題を解きました。間違えた問題は書き出してその日のうちに復習するとなかなか忘れないのでオススメです。

受験勉強は早めに志望校を決めて勉強をするのが理想的だと思います。合格のために何をすれば良いか計画を立てられるし、過去問の対策も早いうちから始められます。しかし、まだ志望校が決められない人は、私のように模試で高得点を取るなど、とりあえずの目標を立ててみるといいと思います。目標を立てることで勉強に取り組みやすくなるはずです。今は行きたいところがなくても、偏差値を上げておくのに損はありません。受験は大変なので、嫌になることが何度もあると思います。頑張っているのに成果が出ないと落ち込んでしまうかもしれませんが、そんなことはよくあることなので、諦めずに最後まで夢を追いかけ続けてください。応援しています。

③愛知県立大学 教育福祉学部

私は、高1の2学期に進路指導部で企画していた「夢現プロジェクト」に参加したことをきっかけに、自分を変えることができました。

他校の生徒と探究学習を行うプログラムに参加し、食品ロスについて探究学習をしました。参加当初は、やりたくないという気持ちもありましたが、「一生懸命取り組めば何か変わるかも！」と思い、実践してみたら、多くの発見を得ることができました。母校で食育の授業をさせていただいたり、愛知牧場でインタビューをするなど、貴重な体験となりました。これらの経験は、勉強面でも生かせると思い、実践しました。例えば数学では、「どうしてこの公式はこんな形してるんだろう？」など根本的な部分から考えることで、理解が深まりました。その結果、定期テストの順位を1桁まで上げることができました。これは、私にとって新たな勉強へのモチベーションとなり、意欲もどんどん湧いてくるようになりました。私はこのことから、勉強以外であっても、何かに一生懸命取り組むことは、新たな学びが得られるだけでなく、モチベーションを生み出すことや持続的に自分自身を高めることができ、結果として学力の向上につながるものだと感じました。そして私は、これらの経験を受験にも生かすべく、国公立大の推薦入試にチャレンジしました。面接練習では先生方にマンツーマンで指導していただき、上記の経験や、この経験を踏まえた理想の教師像を話す練習を毎日行いました。この自分にしかない貴重な経験と、面接練習のおかげで、合格を勝ち取れたのだと思います。

私がこの話で伝えたいことはもう一つあります。聞き慣れた言葉かもしれませんが、「今を一生懸命に生きること」です。「今一生懸命にやること」は未来への糧になりますが、「後回しにすること」は何も生まないどころか後悔を生みます。「後悔先に立たず」です。

④信州大学 繊維学部

「私が今回の受験を通して最も重要だと感じた点は、「継続する」ということです。学校生活を振り返ってみると、特に2つの習慣が受験に活きたと感じました。始めに、私はなにかを継続することが大の苦手です。1年生の頃から学年の先生たちが勉強の習慣づけをサポートしてくださっていたのですが、なかなかうまくいきませんでした。3年生になっていざ受験で使う教科だと思ったときに、1年生の頃から苦手だった分野が手つかずの状態での挽回するのが精神的にも大変だったことから、早めに基礎を固めておけばよかった、と後悔は尽きません・・・そんな私が、継続できた習慣の1つ目は学校に行くことです。当たり前ですが、私が学校へ行く目的は、主に友達と過ごすことで勉強は二の次でした。そうは言っても学校に来さえすれば、授業が始まり、自動的に勉強することになります。また、学校に行くことは、現在進行形ですが、そのまた先もいいことで溢れています。「現在進行形で考えると、授業に出る＝勉強の抜けがない」、つまり学校を休んで自分で勉強するよりも、授業を受けて吸収するほうがはるかに楽であり、自分のためになると考えています。そして、その先というのは、今後の皆さんの進学や就職などについてです。私の経験上ですが、学校に行くこと、つまり欠席しないことは、授業においては休んだときと比べて吸収率が良い、自分の生活態度を認めてもらえるなど、将来的に得をすることが多い気がします。今日も学校に来た自分を褒めてあげてください。2つ目の習慣は、人の話を理解して聞くことです。皆さんは人の話を聞いていますか。家族や友達、先生など、話を聞く場面はたくさんあります。その中でも、授業は50分間理解しながら聞く必要があります。先生が板書していることだけでなく、話をしていることと共に理解する。機械的に写すのではなく、頭を使い考えながら写すことがポイントだと思います。だけど、それはなかなか難しいという人もいるかも知れません。そういう人は、先生がここは重要だと話していることをしっかり確認するようにして、授業で絶対に取りこぼさないという意識をもつ。身近の人が自分のために本気で言ってくれていることを、まずは理解しながら聞く、などから始めると良いと思います。人の話を深く聞くことができるようになると、世界の見え方が変わるかもしれません。私は高校生活で全部全力をモットーにしていました。勉強も部活も全力でやって、全力で楽しむことができました。受験と一言に言っても最後のペーパーテストだけが受験ではなく、この高校3年間の学校生活が、受験の1日1日であると感じました。良くも悪くも、やってきたことは自分に返ってきます。悔いのない高校生活を送れることを願っています。

⑤公立諏訪東京理科大学 工学部

私は、公募制推薦制度で第1志望の公立諏訪東京理科大学に合格しました。私は、入学した時「定期考査でクラス1位を取る」ということを目標にして勉強を始めました。しかし、入学してすぐにコロナの影響で学校が休校になってしまいました。休校期間中は数学と英語の文法を毎日勉強していました。数学は教科書の例題を見て解き方を理解して練習問題を解きました。時々例題を見ても解き方が理解できなかったらYouTubeの授業動画を見て理解しました。英語はノートに大事なところをまとめ、そのノートを声に出して読み暗記し、入試レベルの問題を解きました。そして、定期考査に臨みました。その結果、クラスで1位を取ることができました。さらに数IAの合計が学年1位でした。その時、私はとても嬉しくなりもっと勉強して「学年3位以内を取りたい」と思い、勉強を続け、1年の最後の定期考査で学年3位を取ることができました。2年生になると勉強する内容が難しくなりさらに勉強しました。それでも

なかなかうまくいかないときがあつて困ったりするときもありましたが、周りの支えがあつて乗り越えることができました。3年生になると補習が始まり、模試を受けることが増えました。模試の判定が良くて大学に行くことを諦め専門に行こうと考えていた時に担任の先生から「国公立の推薦を受けてみないか」と言われ、何週間も悩み、担任の先生と何度も面談して最終的に受けることを決めました。受験は、数学の筆記試験と面接がありました。対策として数学の筆記試験は過去問を解きできなかった部分を復習するべきですが特に数ⅡBを中心にやった方が良いと思います。最後に、私が受験勉強でやっていた勉強法を紹介します。それは「Study plus」というスマホアプリで勉強時間を可視化することです。参考書ごとに勉強時間を記録することができ、自分が何時間勉強したのかがすぐに分かります。さらに、フォロワー同士で「いいね」や「コメント」ができるのでモチベーションが上がります。受験勉強は早くやれば合格する可能性が上がります。最後まで諦めず頑張ってください。

⑥南山大学 総合政策学部

僕が受験生活で特に大事だと思うことは習慣化、モチベーションの維持と対策です。早めのうちから英単語や古典単語等を毎日必ず〇〇単語覚えるという習慣をつけるだけで、勉強をしない日が無くなります。僕は毎日起きたら英単語を200個覚えて、夜寝る前に朝覚えた英単語を復習する事を習慣化していました。この習慣化をしていたお陰で、早い内から基礎を終わらせて次の段階に進むことが出来ました。モチベーションの維持に関しては、散歩等の運動や、音楽を聴いたり、YouTubeを見たり、美味しいものを食べたり、自分の気分がリフレッシュ出来るもの、ご褒美になる事をすれば何でもいいと思います。僕は元々、集中力が長く続く方では無いので、勉強の合間合間に2~3曲自分の好きな曲を聴いて休憩をこまめに入れていました。僕は1日勉強しないよりも、中途半端なモチベーションで勉強をずっと続けた方が意味が無いと思うので他にも、1、2ヵ月に1回自分の好きなアーティストのライブに行ったり、遊びに行ったりする事でモチベーションを保っていました。志望校の先輩などの話を聞いたり、自分の大学入学後を想像したりする事もモチベーションの維持に繋がります。先生や塾の先生に相談をすれば必ず、志望大学の問題の特徴や対策等をしっかりと教えてくれます。問題の特徴を掴めば、自分に足りない部分を効率的に分析することもでき、それに伴い志望校合格の為の実力をしっかりと付けることができます。受験は全て自分の思い通りに行くとは限りません。僕は私立大学の文系ですが、最後まで社会が上手く伸びず、最終的な大学の2次試験では大学の入試傾向の特徴から社会の代わりに数学を使うことになりました。文系、特に私立大学志望の人は3年生になってから数学を疎かにしてしまいがちですが、大学によっては出題範囲が狭く、得点源にすることもできるので最初から諦めるのではなく最後までしっかりと向き合ってください。最後に、受験において自分に合ったやり方を見つける事は凄く大事で、難しいことです。1から自分で見つけていくと、時間もかかってしまうし、途中で本当にこれでいいのか、と疑心暗鬼になってしまいます。そんな時は学校の先生や塾の先生、知り合いの先輩等からアドバイスを聞いて自分でアレンジしていくと安心出来るし、合格にぐっと近づくことが出来ると思います。

⑦愛知大学 経営学部

私は部活を引退するまで受験勉強はしてきませんでした。なので、すぐに受験勉強に取り掛かるのは大変でしたが、単語は毎日やるようにしました。英単語や古典単語は覚えないと文章が読めないので早いうちからやっておくのがいいと思います。オススメは1日に100単語ずつやる方法です。最初は絶対覚えられません。ですが、それを毎日続けることで必ず覚えられます。要は復習が大事です！その他には秋頃から過去問をたくさん解くことが重要だと思います。赤本を何回も解いてその大学の傾向を知ることによって大きく合格に近づくと。また、私は家で集中できないので業後は毎日職員室前に残って勉強するように心がけていました。補習や授業はひとつひとつ無駄にしないようにしっかり取り組み、わからないところはすぐに先生や友達に質問して解決していました。分からないままにしておくとは後から苦しくなるので自分で調べても分からない時は質問するべきです。

そして、私は模試でいい結果が出せず1年間ずっとE判定でした。このままでいいのかと何度も心が折れました。でも「諦めない」ことが大事です。私は最後まで諦めずに頑張ったから合格することができたと思っています。なので皆さんも諦めない心を持って臨んでください。立ち止まってしまった時は一人で悩まずに先生や家族、友達などに相談して乗り越えていってください！

⑧名古屋学芸大学 ヒューマンケア学部

私は、課題と予習、定期テストなどの勉強は3年間しっかりやりました。ですが、受験に向けての勉強はほとんどやっていなかったの、模試の順位はいつも下から数えた方が早いぐらいでした。このままじゃだめだと思いつつも、家で勉強できる気がしなかったのと、勉強の仕方が分からなかったの、2年生～3年生の補習はほぼ全ての教科を受講していました。そしたら少しずつ点が上がるようになり、順位も模試の度に良くなりました。

私が受験勉強を始めたのは春が終わってからでした。周りの友達みんなが受験を意識するようになったので、焦ってみんなについて行きました。先述したように、私は1人家で集中して勉強をすることが出来ないの、放課後学校に残り、職員室前で友達と一緒に勉強をしていました。分からないところを聞きあえることに加え、友達のみなどと放課後に残って話せる時間が楽しかったので、モチベーションを保つことができました。

そもそも、受験勉強ってなにすればいいの？これはみなさん思いますよね！私は、とりあえず勉強を1からやりました。まずは公式や文法、単語をひたすら覚えめました。次に簡単な問題、最後はひたすら過去問を解きました。何度も解くと、どの速さで読んだら間に合うのかが分かってくるし、読むスピードもいつの間にか早くなります。私と同じように、勉強にやる気が出ない人は、補習を取ったり、家以外の場所で勉強したりしてみましよう。

また、ともに高めあえる仲間の存在も大切だと思います！受験勉強を始める時期がおそかったり、志望校の判定が悪かったりしても大丈夫！！努力の積み重ねで確実に前進できます。あとは、課題や予習に真面目に取り組んだり、定期テストの勉強をしっかりしたりするなど、当たり前のことはきちんとやっておきましょう！春から受験生のみなさん、頑張ってください！応援しています。

⑨愛知学院大学 短期大学部 歯科衛生学科

私1年生の頃から無遅刻無欠席で学校に通い、授業に真面目に取り組みました。考査週間は学校に残り勉強をして定期テストでは上位を目指して頑張ってきました。また、3年間ボランティア委員として活動し、陸上部では副部長とマネージャーを務めました。そんな私の合格体験記を紹介します。

私は中学生の頃から美容師になりたいという夢を持っていました。しかし、第1希望だった大学の学部がなくなってしまい、高校3年生になってから進路先を歯科衛生学科に変えました。ですが、私は勉強を頑張っていたおかげで、第1志望である愛知学院大学短期大学部歯科衛生学科に合格することができました。私の入試方式は小論文と面接でした。私は小論文を書いたことがなく、最初はどのように書けばいいかわかりませんでした。ですが、何回も過去問や歯科衛生学科の大学の小論文の問題を解き、先生に添削をしてもらい徐々に慣れていきました。面接は基礎的なことは暗記をしました。他は何を聞かれるかわからないので色々なパターンの答えを用意しておき、さらに自分の経験などを思い出しておいてどんな質問が来ても応用できるように答えられるようにしていました。最初は文を考えて読むだけでしたが最後の方には何も見ずにすらすら言うことができるように練習をしました。先生方が親身になって練習に付き合ってくれたので試験当日は適度な緊張感を持って面接を受けることができました。

受験はたくさんの情報を集めることが大切だと思います。最近ではいろいろな入試方法があります。自分に合った方式を見つけ合格を掴んでください。さらに、受験は焦りなどで精神的に辛くなることもあると思います。なので、もちろん勉強は大切ですが、行事ごとなど楽しめるところは楽しみ息抜きなどをして受験に取り組んでほしいです。頑張ってください！

⑩愛知県立総合看護専門学校

私は公募制推薦制度で愛知県立総合看護専門学校を受験しました。

私は、高校に入る前から看護師になることを志していました。そのため、一年生の時から担任の先生に看護系の進路に進みたいと相談していました。「三年生になって進路を決める、受験をするとなった時に、三年間の成績が大切になるから今からしっかりやっておきなさい」と言われ、一年生の時から成績を落とさないこと、ちゃんとした学校生活を送ることを常に心がけて三年間過ごしました。

二年生の夏休みにオープンキャンパスへ行き、愛知県立総合看護専門学校を受験することに決めました。

部活動はバレーボール部に所属しており、引退まで部活に専念して、引退後から本格的に受験勉強を始めました。オープンキャンパスで見た過去問に出題されていた所を重点的に勉強しました。私は受験で小論文と面接がありました。初めて書く小論文は本当に難しく大苦戦し、それと並行して行っていた面接練習も自分の伝えたい想いをスラスラと話すことができず毎日心が折れそうになりましたが、何度も繰り返し練習していくうちに少しずつできるようになりました。本当に大変で辛かったですが、そこで身につけた言葉の使い方や話し方は、絶対に他の場所でも役に立つと思います。

進路や目標が決まっていなくても、決まっていなくても、今日の前にあることを全力で取り組んでください。「あの時もっとこうしてればよかった」とならないように頑張ってください。

⑪公立春日井小牧看護専門学校

私は、この3年間で、まずはひとつひとつの授業や定期考査をしっかりと取り組むよう心がけていました。1・2年生のころは、この科目は自分の進路で使わないだろうと思う授業もありました。でも、だからといってその科目を投げやりにせずに、とりあえずは、定期考査では良い点数をとろうという気持ちで取り組むとやるきがおきて、頑張ることが出来ました。どの科目にも、理解が追いつかない内容だったり、複雑な内容だったり、自分1人だけでは頑張れませんでした。なので、そういう時は、先生や友達を頼って教えて貰って、理解して、自分で解けるようになるまでその部分を繰り返すなどの努力はしていました。上位を目指していても、もちろん頑張っているのは自分だけでは無いので、思っていたよりも良い結果が出ないこともありました。そして、自分自身もなかなかやる気がおきなくて、成績が下がってしまった時期もありました。でも、受験生に近づいていくうちに、このままではいけないと思うようになりました。そして、1・2年生のころの定期考査だけでもという気持ちに加えて、受験も意識するようになり、また成績を上位の方に戻すことが出来ました。時には、色々なプレッシャーで辛いと感じる時期もありました。そういう時もひとりじゃ絶対乗り越えられないので、先生・家族・友達にたくさん相談していました。勉強以外のことだと校内のボランティア活動に参加したり、室長をやったりなど、色々なことに挑戦するようにしていました。色々な経験をすることで、普段の勉強だけじゃ得られないような事も学べたと思います。もう進路先が決まっている人も、まだこれから決めるといふ人も、とにかくまずは、ひとつひとつの定期考査で良い成績を残すというモチベーションで、頑張ってみてください。あとは、先生方のことを信じて頑張ったらすぐには無理でも必ず良い結果になってくると思います。みなさん頑張ってください。

⑫名古屋 ECO 動物海洋専門学校 水族館アクアリスト専攻

私には幼い頃から叶えたい夢があります。その夢を叶えるために大学に進学するか専門学校に進学するか悩みました。1年生の時はまだ具体的には決めておらず、どの道に進学しても困らないように終礼テストや日々の授業で行われている小テストは不合格にならないように、定期考査では上位をめざして勉強に励みました。また、私のなりたい職業はどのような分野か、どんな資格が必要なのかを調べ、様々な大学、専門学校を比較しました。先生との面談を通して2年生の前半には進路を専門学校に決めました。決めてからはインターネットでその専門学校の受験方式やどういった授業が行われているかなどの情報をより深く調べ、オープンキャンパスにも何度も参加しました。オープンキャンパスではその学校の雰囲気や自分の目で確かめることも実際に通っている先輩方の話も聞いて学校生活に関する質問も直接聞くこともできるのでとても参考になります。みなさんも少しでも気になる学校があればオープンキャンパスに参加したり資料を請求したりすることをおすすめします。受験対策として私は試験内容が作文と面接でした。作文に関しては専門学校側が書くポイントを教えて下さり、それに沿って自分の気持ちが伝わるように書きました。面接はまず志望理由を箇条書きでたくさん書き出して上手く文につなげられるように考えました。その他の内容も考え、家で面接練習をしました。受験当日の面接は本当に緊張しましたが、試験官の目をしっかり見て「私はこの学校に通いたい！」という気持ちを精一杯伝えました。そして合格することができました。その後はつい気が緩みそうになりましたが、まだこれから受験する友達がいるのを忘れずに授業はしっかり聞いて定期考査も最後まで気を抜かず頑張りました。

「受験勉強をしたくないから」「専門学校の方が楽そう」などの今を逃れるためだけの理由で専門学校を選ぼうとしている人はもう一度考え直してみてください。そういった軽い気持ちで入学してきた人はやめていく率が高いという話を実際に聞きます。なので、本当に自分がやりたいこと、学びたいことを見つけ大学でも専門学校でも就職でも後悔が残らないように学校生活を送ってください。受験勉強は辛くて大変だと思いますが、自分を信じて最後まで頑張ってください！ 応援しています！！